資料②

第１部

パネルディスカッション

「他市事例を踏まえた再配置の効果や課題について」

出演者紹介

ファシリテーター

いのう　　のぶお

稲生　信男　氏

早稲田大学社会科学総合学術院教授

千葉市資産経営推進委員会・委員長

パネリスト

やまもと　　としや

山本　俊哉　氏

明治大学理工学部建築学科教授

千葉市資産経営推進委員会・副委員長

パネリスト

くらかず　　りょうこ

倉斗　綾子　氏

千葉工業大学創造工学部デザイン科学科准教授

千葉市資産経営推進委員会・委員

パネリスト

いいじま　　けんいち

飯島　健一　氏

小平市企画政策部行政経営課

　課長補佐兼施設マネジメント担当係長

認定ファシリティマネジャー（ＣＦＭＪ）

パネリスト

よねみつ　　みのる

米満　実

千葉市財政局資産経営部長

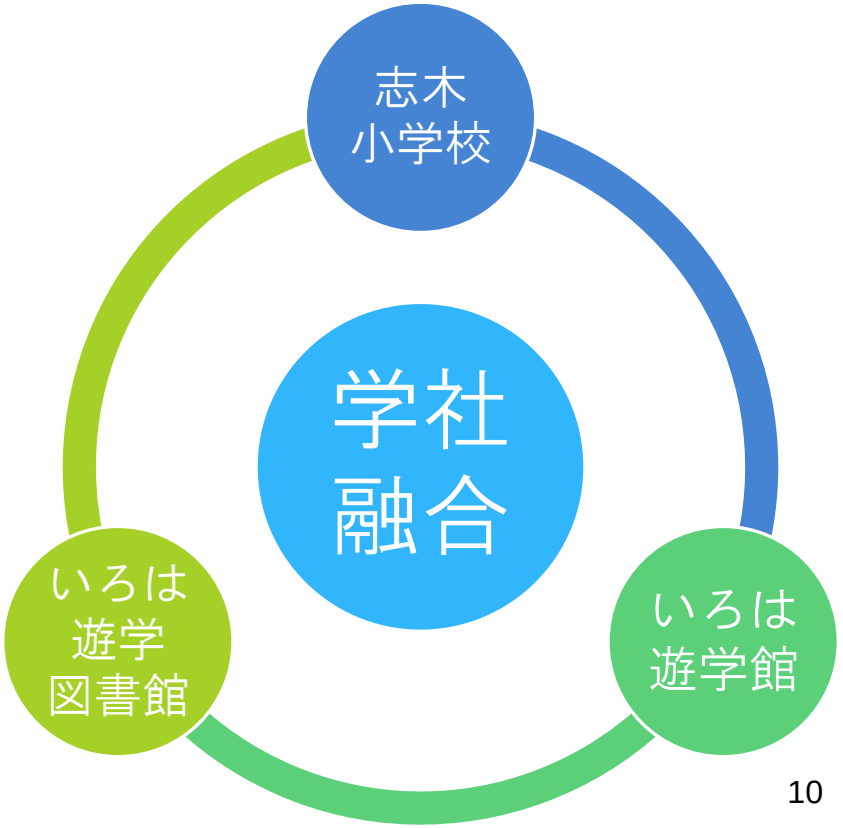
本日の内容

1. 学校への複合化
2. 既存建物の活用や合築による複合化
3. 千葉市の事例紹介
4. 質疑・応答
5. まとめ

１　学校への複合化

埼玉県志木市の事例

- 志木小学校
- いろは遊学館（公民館）
- いろは遊学図書館



施設の立地状況

群馬県
栃木県
茨城県
埼玉県
千葉県
長野県
山梨県
東京都
志木市
平成 28 年 1 月 1 日現在
N
さいたま市
富士見市
上宗岡
1. 309 ㎢
6, 437 人/㎢
(荒川堤外)
1, 961 ㎢
中宗岡 1. 380 ㎢
7, 964 人/㎢
下宗岡 1. 092 ㎢
5, 115 人/㎢
柏町 1. 073 ㎢
館 0. 449 ㎢
17, 568 人/㎢
本町 1. 062 ㎢
14, 785 人/㎢
幸町 0. 724 ㎢
15, 757 人/㎢
朝霞市
新座市

施設の立地状況

志木小
本町三
113
244
ヴェルモ志木
本町
36
慶應義塾志木高
マルイ
志木
40
朝志ケ丘
東武東上線
新座志木中央
総合病院

柏町1丁目
いろは遊学図書館
いろは遊学館（公民館）
113
いろは
遊学図書館
志木小
本町1
市民会館
パルシティ
志木小学校

複合施設検討の背景

建物名	建築時期	その他
旧志木小学校校舎	昭和２９年	一部増築：昭和４０年
現在の志木小学校南校舎	昭和５２年	
旧志木公民館	昭和４０年	
旧志木図書館	昭和４２年	旧消防署を昭和５３年１２月に転用

建物の老朽化・耐震性の問題

基本的な考え方

・２１世紀という時代の要請にこたえた学社融合の教育施設を目指す

・学校の特別教室の有効活用により、全ての市民の生涯学習をより積極的に推進する

学校・社会教育施設の老朽化・耐震化問題解消と地域で子どもたちを守り育てるという考え方

教育の展開（期待される教育効果）

- 「生きる力」の育成を基本とし、子どもたちが自ら学び、自ら考える教育の推進を図るとともに、小学校といろは遊学館（公民館）・いろは遊学図書館との交流を通じて、子どもたちの学習・体験活動の幅を広げ、“学校教育の社会化”を展開

- 地域の方々が、生涯学習の一環として、施設を利用するなかで、児童との交流が図られ、児童と市民の双方の教育の相乗効果を期待

  ⇒ 学社融合事業の展開

  （命を学ぶ人権講座、いろは大学との交流など）

経緯

年月	内容
H9.5	庁内プロジェクト・チーム設置 （名称：志木小学校・社会教育施設等複合プロジェクトチーム） （任期：～H13.3）
H11.1	市民検討委員会設置 （名称：志木小学校・公民館・図書館複合施設検討委員会） （任期：～H13.3）
H11.3	基本構想策定
H11.5	志木小学校等複合施設設計候補者選定委員会設置
H11.7	プロポーザル方式による基本設計者の選定
H13.5	**建築工事契約・着工　（工期～H15.3）**
H14.12	名称「いろは遊学館」（公民館）「いろは遊学図書館」に決定
H15.1	**志木小学校、３学期から新校舎で授業開始**
H15.3	**合同竣工式（約6年経過）**
H15.4	**いろは遊学館（公民館）、いろは遊学図書館開館**

施設規模

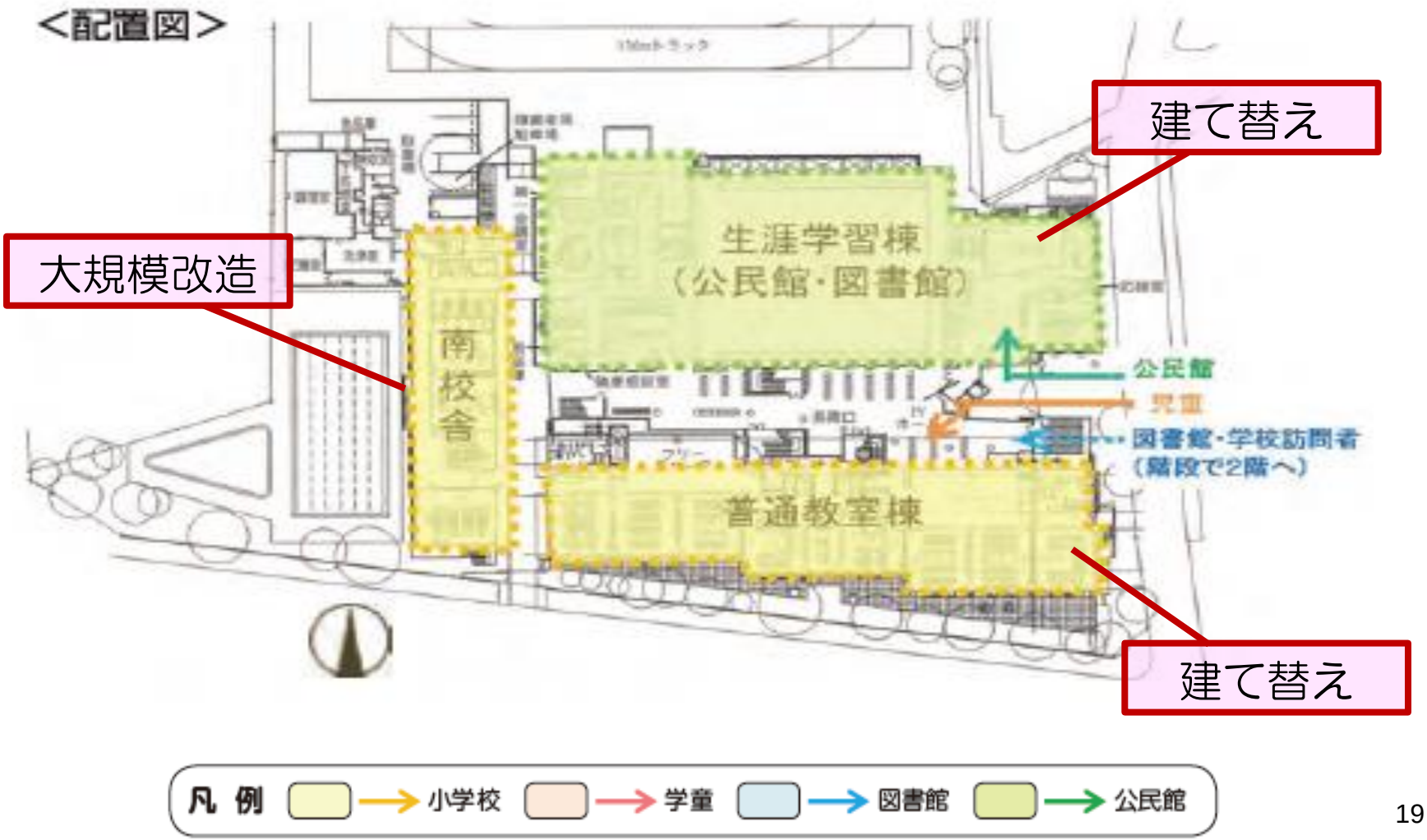
- 構造：鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造
  階数：地下2階　地上4階

- 延床面積　　13,346㎡
  （内訳）
  - 新築本体　　11,138㎡
  - 既存南校舎　　1,907㎡
  - 給食室他　　301㎡

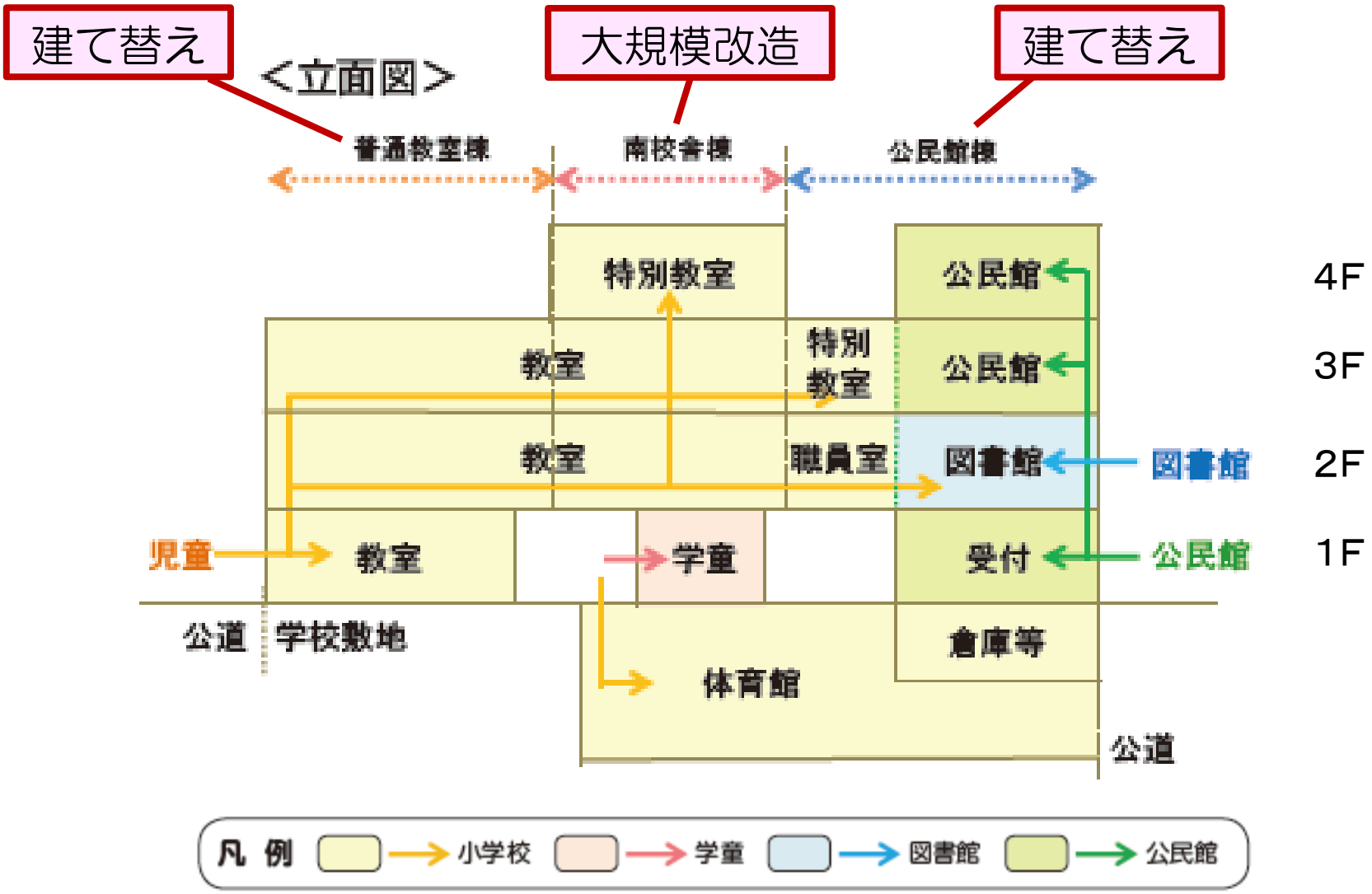
各施設の利用時間と休館日

施設	利用時間	休館日等
小学校	午前8時～午後4時30頃	土・日曜・祝日 夏休み等 ※児童が利用しない夜間、休日及び長期休暇期間は、小学校の特別教室を一般市民に開放
公民館	午前9時～午後10時	月曜日（祝日は開館）、年末年始
図書館	午前9時30分～午後7時	月曜日（祝日は開館）、年末年始 館内整理日、 特別整理期間 ※休館日でも小学校の児童は利用可能

学校への複合化⑩


<配置図>
建て替え
大規模改造
生涯学習棟
（公民館・図書館）
南校舎
普通教室棟
公民館
児童
図書館・学校訪問者
（階段で2階へ）
建て替え
凡 例
小学校
学童
図書館
公民館

学校への複合化⑪


建て替え
＜立面図＞
大規模改造
建て替え
普通教室棟
南校舎棟
公民館棟
特別教室
公民館
4F
教室
特別教室
公民館
3F
教室
職員室
図書館
図書館
2F
児童
教室
学童
受付
公民館
1F
公道
学校敷地
倉庫等
体育館
公道
凡 例
小学校
学童
図書館
公民館

平面計画上の特徴

凡 例
小学校
公民館
図書館
3F
既存施設との
階高の違いを解消
生涯学習棟への
連絡通路
学校時間外
は施錠
公民館内に小学校の
音楽室を設置
学校開放時は公民館と
併せて管理ができる位置
児童と利用者が
接触しやすい場所には
警備員が常駐
児童は校舎と図書館を
自由に行き来ができる
雨天も使える
屋根付きのテラス※
（小学校のみ使用）
図書館
利用者
レインボーガーデン
2F
図書室に代わり
読書コーナーを各階に設置
児童の昇降口
通学時以外は施錠
通学時
公民館へ
公民館の入口
受付で利用者を確認
利用者は入館証
を身に着ける
学校側に児童書コーナー
を設置
地域の人が訪れやすい
場所に職員室を設置
（学校の様子も見える）
学校時間外は
扉を施錠
1F

１階

図書館利用者は
階段で２階へ

２階

総合案内所
（警備員）

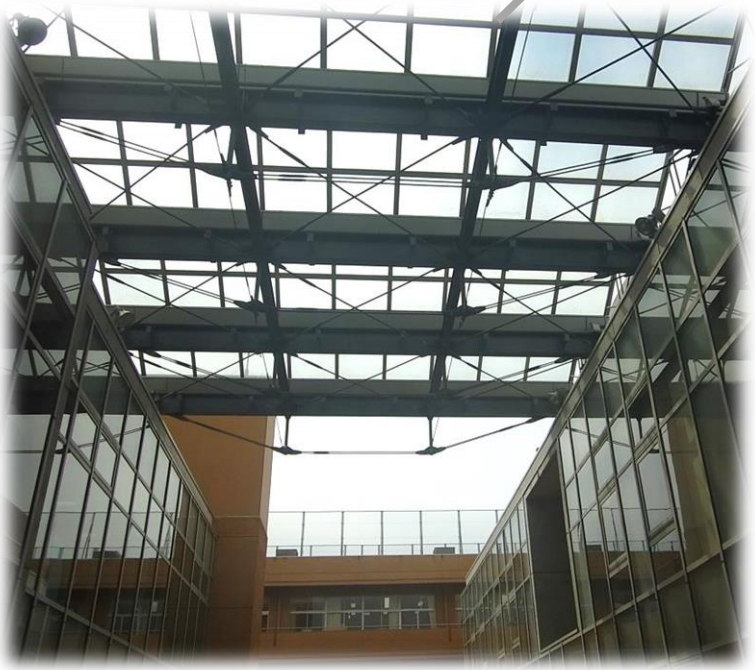
普通教室棟
（小学校）

生涯学習棟
（図書館）

レインボー
ガーデン

２階

レインボーガーデンは
屋根付きで、雨天でも
使用可能（小学校）



図書館入口

図書館の閲覧コーナーは
授業でも使用可能

小学校

教室はオープンスペース

図書室に代わり
各階に読書コーナーを設置

小学校

小学校時間外は施錠

普通教室棟と南校舎の段差は
スロープを設置して解消

児童の安全確保

児童と公民館・図書館利用者との動線はあえて明確に分けず、大人（教職員だけでなく複数の施設の職員）の目で児童を守るという方針で運営。

⇒１校２館の複合施設では、複数の管理職や多数の関係職員が配属されるとともに子どもたちの周囲には、利用者である市民を含めた**多くの大人の目**があることから**学校単独施設よりも安全性**は高まる。

防犯対策

①全職員、教職員のＰＨＳ携帯

②防犯監視カメラ設置（２０台）

③入館証の着用

④常駐警備員の配置

⑤いろは遊学館等管理運営委員会設置

（危機管理マニュアルの作成）

⑥志木小学校との合同の防犯・火災

避難訓練（年３回）

地域の防災拠点

災害対策本部機能を果たす

防災備蓄倉庫

他事例の紹介

１　山本俊哉氏による事例紹介

２　倉斗綾子氏による事例紹介

※資料は配布しておりませんので、スクリーンをご覧ください。

ディスカッション

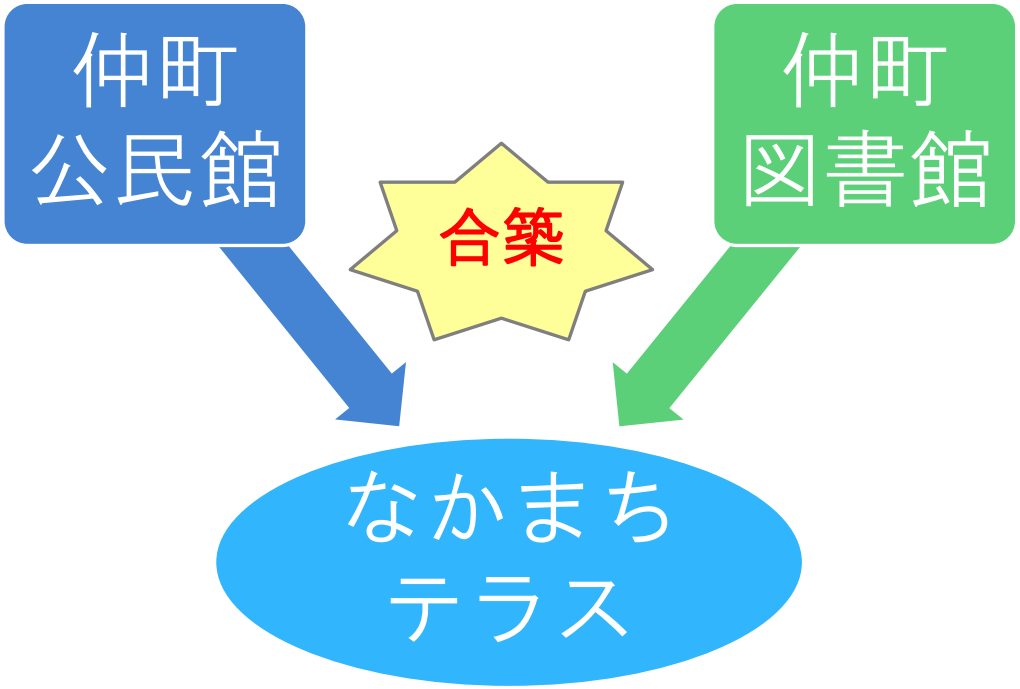
テーマ

「学校への複合化」

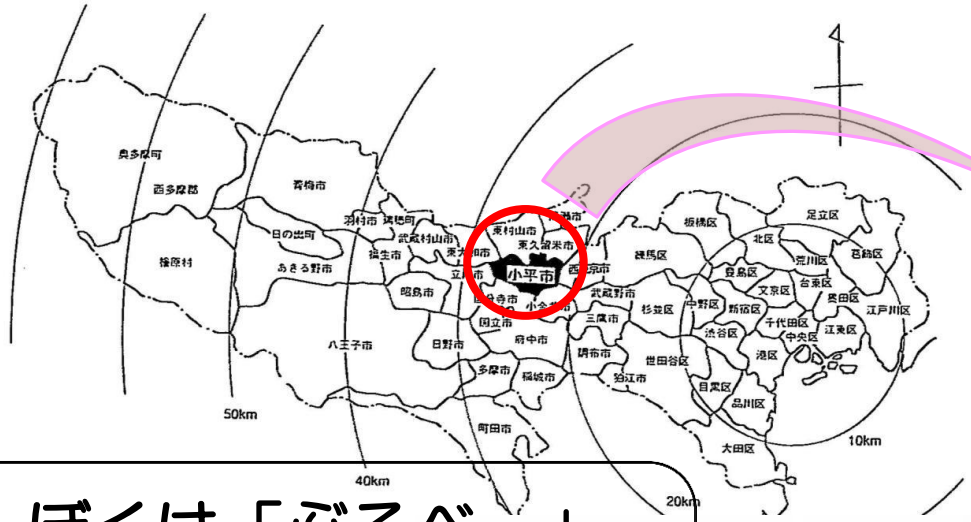
２　既存施設の活用や合築による複合化

東京都小平市の事例

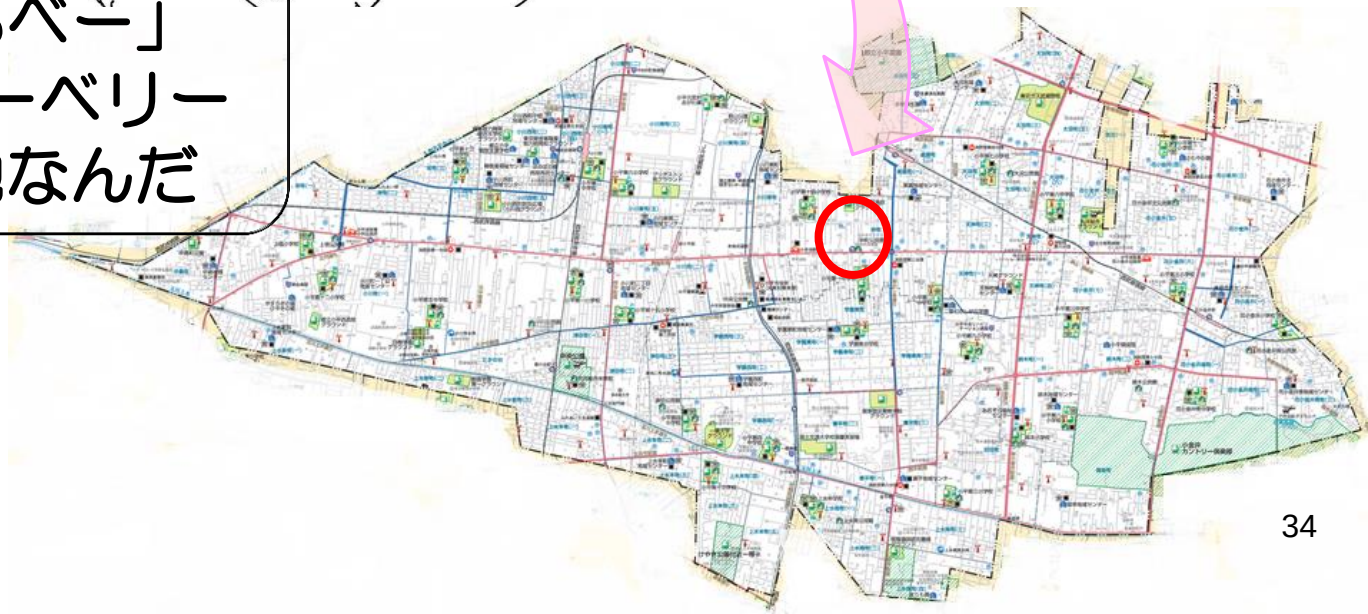
- 仲町公民館
- 仲町図書館



施設の立地状況



ぼくは「ぶるべー」
小平市はブルーベリー
栽培発祥の地なんだ



施設の立地状況

なかまちテラス
旧 仲町図書館 敷地
小平駅
N
西武新宿線
狭山・境緑道
(小平グリーンロード)
ルネこだいら
西武多摩湖線
青梅街道駅
小平消防署
交番
仲町交差点
青梅街道
小平市役所
にじバス
バス停
一中
あかしあ通り
旧 仲町公民館

複合施設検討の背景

建物名	建築時期	構造・面積	その他
仲町公民館	昭和３９年 （一部改築） 昭和５２年	軽量鉄骨造 ２階建 延床面積　６９７㎡	エレベーター、 防音設備等がない
仲町図書館	昭和５０年	鉄筋コンクリート造 地上３階・地下１階 延床面積　１，１４１㎡	

1，838㎡

建物の老朽化・耐震性・
バリアフリーの問題

基本的な考え方

基本コンセプト　「人と情報の出会いの場」

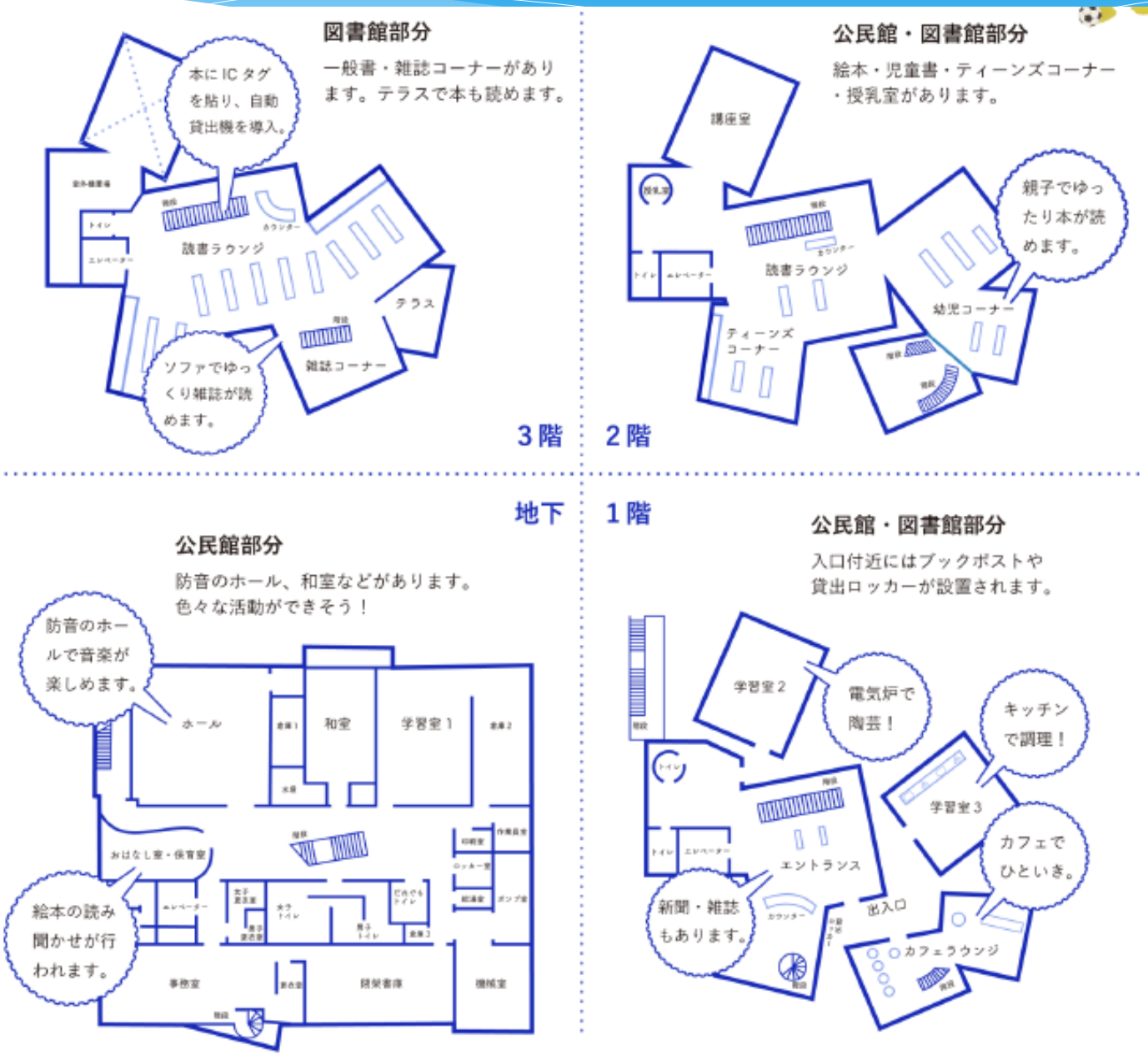
⇒双方の資源を有効に活かし、相乗効果と従来機能に
新規機能を加味することにより、より多様な市民が集い、
多機能感やゆったり感のある施設づくりを目指す

- 仲町公民館及び仲町図書館の２施設を合築した複合化施設とし、双方の機能を維持しつつ、情報通信技術の導入等を図る中で、特徴ある機能を持たせていく。
- 「小平市公共施設等の有効活用に関する方針」の基本的な考え方に基づき、施設の多目的利用の展開を図り、利用者サービスの増進と、より効率的な施設サービスの提供を目指す。
- 建設敷地は仲町図書館敷地

完成した施設

既存施設の活用や合築による複合化⑦

平面図

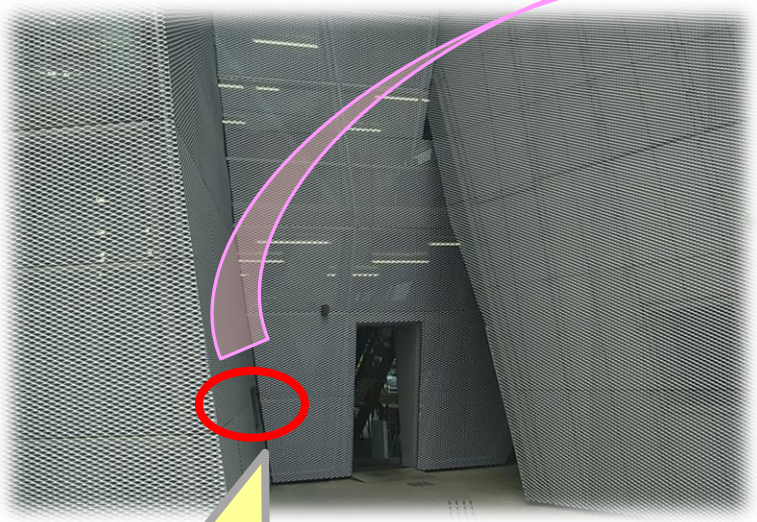


施設規模

- 構造：地上・鉄骨造、地下・鉄筋コンクリート造
- 階数：地上３階、地下１階
- 敷地面積　993.77㎡
- 建築面積　361.94㎡
- 延床面積　1,453.27㎡
- 高さ　10.58m

1,838㎡
↓
1,453㎡
約２１％減

１階



入口

閉館時のブックポストと
貸出ロッカー

裏側に駐車場を設置

１階カフェラウンジ

デジタルサイネージを設置し、
小平市の観光ルートなどを発信

１階エントランス

新聞・雑誌は公民館開館時であれば、図書館閉館時（金曜日や夜間）でも閲覧できる

公民館

学習室（１階）

公民館利用団体への連絡文書等を入れることができる

ロッカー室（地下）

１階は建物がそれぞれ独立しているため、入口に防犯カメラを設置

図書館

幼児コーナー
（２階）

カーペットのため、親子で
ゆっくり読書を楽しめる

閉架書庫
（地下）

学校の学級文庫となる本を保管している

経緯

年月	内容
H18. 3	「仲町公民館と仲町図書館を合築し情報技術により利用者の創造性をより高めていく」という第３次長期総合計画の基本方針に基づき、庁内で検討を進める
H22. 5	「仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針（案）」を作成
H22. 7	市民意見公募（パブリックコメント）による90件の意見を参考にし、「仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針」を策定
H22. 7	プロポーザル方式による基本設計者の選定（35者参加）
H22. 9	**「株式会社妹島和世建築設計事務所」に決定**
H22. 10	基本設計業務委託契約を締結（～H24. 2）
H24. 1	旧仲町図書館閉館
H25. 2	旧仲町図書館を取り壊し、なかまちテラス建築（～H26. 10）
H26. 10	**建物が市に引き渡される**
H27. 3	**開館式典**
H27. 3	旧仲町公民館閉館
H27. 3	**仲町公民館、仲町図書館（なかまちテラス）開館**

目指す効果

生涯学習の振興

- 生涯学習の拠点としての公民館と図書館が連携することによる相乗効果や、学習成果の地域への還元、さらには、利用者の主体性を尊重した学習活動の展開が期待される

地域の活性化

- 活発なコミュニティの形成や活気のある産業活動が期待される
- 建築デザインによる集客性も利しながら、市民共有の有効な資源として、「人が育ち、ネットワークが広がる効果」、「地域経済に波及する効果」、「シティセールスの効果」にむけて機能することが期待される

施設の複合化にあたっての具体案

複合化による利便性の向上

- 市民の交流の場としての多目的スペースの整備
- 公民館講座・施設を利用した学校図書館ボランティア等の育成
- 市民の交流の場としての地域の集会機能
- 施設設備の相互利用や多目的利用の推進

複合化による施設の有効活用の推進

- 事務室の共用化
- コピー室などを共用化し、限られたスペースで最大限利用可能な空間を創出

施設の複合化にあたっての具体案

公民館機能の充実

- 旧公民館に設置されていない防音設備や調理設備の付設など付帯設備の充実により、利便性・快適性・安全性の向上を図る
- 関連講座等の積極的な開催や、学習提供・学習相談の充実を図り、地域の課題解決に向けた市民の能動的な活動の支援を推進する

図書館機能の充実

- 情報通信技術の導入による利便性の向上を図る（自動貸出機など）
- 事前予約による閉館時の貸し出しの実施（貸出ロッカーの設置）
- 学校図書館との連携推進館として位置づけ、学校図書館の支援体制の充実を図る

各施設の利用時間と休館日

施設	利用時間	休館日等
旧仲町公民館	午前9時～午後10時	月曜日（祝日除く）、年末年始
旧仲町図書館	火・水曜日 午前10時～午後7時	金曜日（祝休日含む）、 第３木曜日、 特別整理期間
	月・木・土・日曜日・祝休日 午前10時～午後5時	

施設	利用時間	休館日等
新仲町公民館	午前9時～午後10時	第３木曜日、年末年始
新仲町図書館	火・水曜日 午前9時～午後8時	金曜日（祝休日含む）、 第３木曜日、 特別整理期間
	月・木・土・日曜日・祝休日 午前9時～午後5時	

なかまちテラスの今

職員事務の共通化

- 公民館・図書館の窓口は、図書館職員と公民館職員が共通の業務を行う

公民館・図書館の相互乗り入れ事業

- 「仲町公民館まつり」を「なかまちテラスまつり」として、公民館、図書館、地域住民、商店会と協働して実施
- 図書館おたのしみ会への公民館サークルの参加協力（紙芝居サークルによる講演等）
- 公民館の講座での図書館資料を使用した講座の企画（サタデー講座・家庭教育講座）
- 図書館資料を使った調べ学習の講座の開催（小学生・中学生対象）
- 図書館の商用データベース等を活用した公民館講座の開催等

施設の相互利用

- 講座室と読書室の共用
- おはなし室と保育室の共用

なかまちテラスの今

カフェラウンジの運営

- デジタルサイネージを設置し、小平市の地域資源や観光ルートなどを発信

なかまちテラスＬｉＮＫＳプロジェクト

- 「みんなでつくるみんなのなかまちテラス」をコンセプトとした協働事業
  ※ＬｉＮＫＳ（Library／i／Nakamachi／Kominkan／School）
- 施設利用者、子ども、学校関係者、農商工事業者、自治会、青少年対策築委員会など地域のさまざまな方々が主体となって参加
- ①キックオフ！なかまちテラスの未来づくりワークショップ
- ②この指とまれ！なかまちテラスでやりたいこと大募集
- ③武蔵野美術大学との連携事業「なかまちテラスのＰＲとコミュニティ・デザイン」
- ④津田塾大学フェアトレード推進サークル「チカス・ウニダス」との連携事業
- ⑤なかまちテラス未来づくり実行委員会
- ⑥なかまちテラスまつり実行委員会

周辺整備

- 小川用水親水整備
- 道路整備
- 駐車場の設置

３　千葉市の事例紹介

蘇我勤労市民プラザ

蘇我コミュニティセンター

施設の立地状況

隣接して設置
蘇我勤労市民プラザ
蘇我コミュニティセンター
卍福正寺
蘇我市民プラザ
蘇我ケアセンター
ほっとはあと
川鉄病院前
マンション貴族館
今井神社
あい・あい保育園
上野法科ビジネス専門学校2号館
蘇我
新月ビル
Bloom
ダイアパレス京葉蘇我2
今井2丁目
ソネビル
S・T・Cビル
外房線
218

施設の概要

	蘇我勤労市民プラザ		蘇我コミュニティセンター	
設置目的	勤労市民の文化の向上及び健康の増進を図り、もって福祉の増進に寄与するため		市民のコミュニティ活動のため	
開館時期	平成３年		昭和５４年	
構造、階層	鉄骨鉄筋コンクリート造　５階建 （新耐震基準）		鉄筋コンクリート造　３階建 （旧耐震基準　ＩＳ値0.40）	
施設概要	延床面積　5,546.16㎡		延床面積　2,541.81㎡	
	諸　　室	音楽室、創作室、和室、 多目的ホール、講習室など	諸　　室	音楽室、創作室、和室、大広間 ホール、講習室など
	体育施設	体育館、トレーニング室、 エアロビ室	無料施設	静養室、サンルーム、 図書室、幼児室

機能が類似

見直しの経緯

（１）蘇我勤労市民プラザ

Ｈ２１年度事務事業評価において、**見直しの必要性について外部委員からの指摘**を受け、事業のあり方を検討。

（２）蘇我コミュニティセンター

建物が老朽化し、耐震性能も低く、利用の継続には**大規模な耐震改修工事が必要**。

施設の利用方針 ①

蘇我勤労市民プラザと蘇我ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰを

統合し、平成２８年４月に

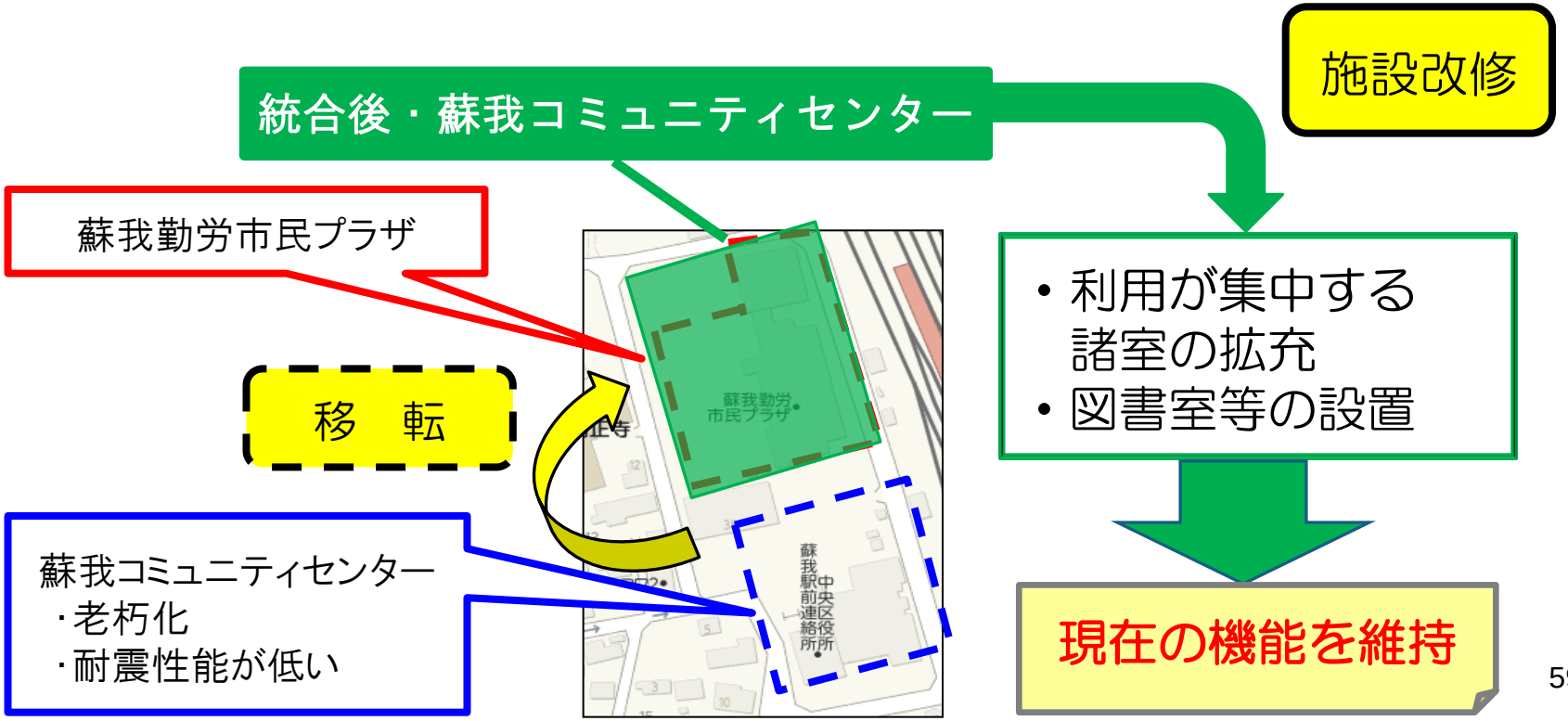
新蘇我コミュニティセンターがオープン

蘇我勤労市民プラザは平成２７年度末で廃止

施設の利用方針 ②

蘇我コミュニティセンターは、

蘇我勤労市民プラザ建物に移転



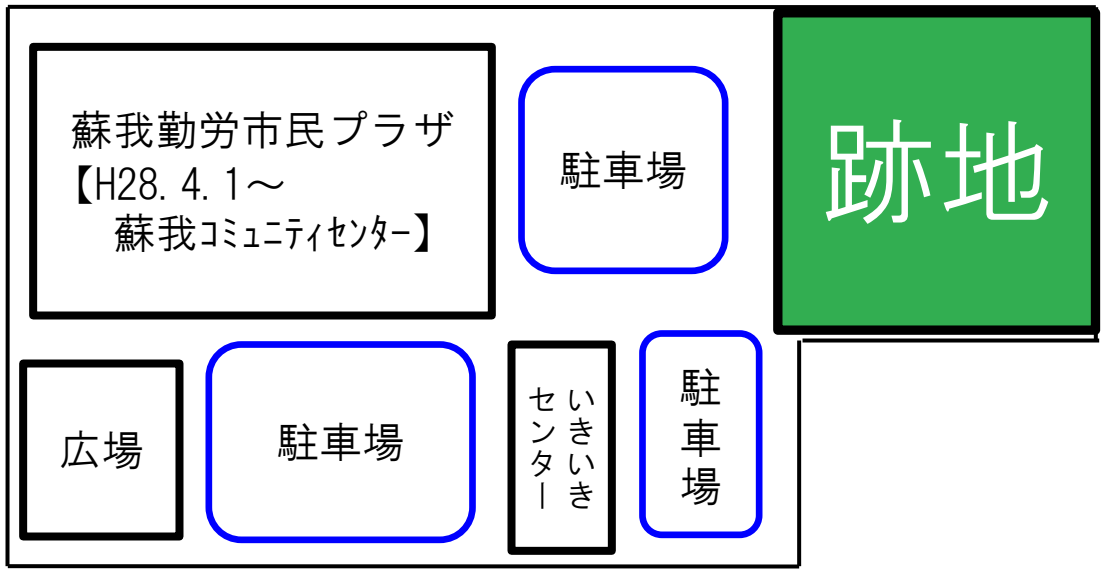
施設の利用方針 ③

旧蘇我コミュニティセンター建物は除却

⇒　他公共施設等への内部転用はしない

跡地は、売却せず、貸付等により活用

⇒　交通至便な土地なため、市が保有



JR蘇我駅に近接
交通至便な土地

市が保有
当面は貸付等での
活用を検討

統合による財政的効果

１　運営経費

（１）指定管理委託料（平成２６年度決算額）

- 蘇我勤労市民プラザ　53,364千円
- 蘇我コミュニティセンター　51,931千円

合計　105,295千円…Ａ

（２）統合後の指定管理料（平成28年度）

- 新蘇我コミュニティセンター　74,131千円…Ｂ

（３）効果額（Ａ－Ｂ）

31,164千円

年間約３千万円の削減効果

施設の利用状況 ①

（１）利用者数

約11,500人／月　（H26　ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ）

約7,500人／月　（H26　勤労市民ﾌﾟﾗｻﾞ ※企業等の利用を除く）

→　<u>約15,000人／月</u>　（H28年4月～9月　新ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ）

（２）諸室稼働率

54.1%　（10室：H26ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ）

48.5%　（17室：H26勤労市民ﾌﾟﾗｻﾞ ）

→　<u>51.6%</u>（17室　H28年4月～9月　新ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ）

（３）コミュニティセンターの使用方法の変更

- 使用者の範囲の追加（市外在住者及び企業等）など　※営利目的を除く

→これにより、蘇我勤労市民プラザ利用者に対するサービス維持を図る

ディスカッション

テーマ

「合築や既存建物の活用などによるその他施設の再配置」